

# 市議会だより



表題は「いとう」の文字に大室山・小室山を配し、図案化したものです。

## 「伊東かるた」とめぐる

### “伊東の魅力”再発見

た  
き  
ぎ  
の  
う  
新  
能

五月中旬、祐親を祀る行事が催され東海館下の川の上に舞台が造られます。日本ではここだけという水上舞台では、初日に川中にかがり火をたいて能、狂言が上演されます。  
〜伊東かるた解説書より〜



か  
かがり火が  
川面に映える  
新能

※伊東の自然・歴史・文化を題材にした「伊東かるた（第二版）」（伊東かるたの会制作）の中から「伊東の魅力再発見」をテーマに、編集委員が選んだお気に入りの札を写真とともにご紹介します。

#### 主な内容

- 12月定例会の概要 ……【 P. 2 】
- 常任委員会だより ……【 P. 11 】
- 一般質問（13議員が登壇） ……【 P. 4 】
- 常任委員会行政視察 ……【 P. 12 】



# 令和4年12月定例会

## 22件の議案等を審議、決定

12月定例会を11月30日から12月15日までの16日間の会期で開会しました

議案番号	件名	概要	提出者	審議結果
市認第15号	令和4年度伊東市一般会計補正予算(第5号)の修正に係る専決処分の報告承認について	令和4年9月定例会において議決された、伊東市一般会計補正予算(第5号)について、議案の一部に修正箇所が判明したため、令和4年9月30日に修正に関する議案の専決処分を行ったことの報告承認	市長	全会一致で承認
市認第16号	令和4年度伊東市一般会計補正予算(第6号)専決処分の報告承認について	物価高騰による負担増への対応として国の給付金を活用し、住民税非課税世帯等へ1世帯当たり5万円を給付する価格高騰緊急支援給付事業に係る補正予算について、令和4年10月12日に専決処分を行ったことの報告承認	市長	全会一致で承認
市議第22号	伊東市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例	自治体におけるオンライン手続の推進をはじめとした、情報通信技術を活用した行政の推進のため、書面による申請または処分通知等について電子情報処理を使用して行うことを可能とする等のほか、必要な事項を定める条例の制定	市長	全会一致で可決
市議第23号	伊東市一般職の職員の給与に関する条例及び伊東市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する等の条例の一部を改正する条例	令和4年人事院勧告において民間給与との較差を解消するため、初任給の引上げ、30歳代半ばまでの職員が在職する号級の改定及び令和4年12月期の勤勉手当を再任用職員以外は0.95月から1.05月、再任用職員は0.45月から0.5月への引き上げ、令和5年度以降は再任用職員以外は6月期、12月期とも1.0月に、再任用職員は0.475月に改める等の条例改正	市長	全会一致で可決
市議第24号  討論	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	地方公務員法の一部改正により、令和5年度から定年が段階的に引き上げられることに伴い、再任用制度を廃止するとともに伊東市一般職の任期付職員の採用等に関する条例等の11件の条例における地方公務員法の改正に伴う用語や引用条項などの整理を行う条例改正	市長	全会一致で可決
市議第25号	伊東市職員の降給に関する条例	地方公務員法の一部改正による定年の段階的な引上げ及び同法の規定に基づき、職員の意に反する降給に関し、降給の種類、通知書の交付等の必要な事項を定める条例の制定	市長	全会一致で可決
市議第26号	伊東市特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例	令和5年4月1日付で実施する組織機構改革に伴い、伊東市特別職報酬等審議会の庶務を企画部秘書課から企画部職員課に改正	市長	全会一致で可決
市議第27号	伊東市犯罪被害者等支援条例	犯罪被害者等が一日も早く平穏な暮らしを取り戻すことができるよう、市や市民、関係機関等が連携して犯罪被害者等に寄り添った支援施策を総合的に推進することを目的に、基本理念及び総合的支援窓口の設置等、必要な事項について定める条例の制定	市長	全会一致で可決
市議第28号	伊東市宮天城霊園条例の一部を改正する条例	伊東市宮天城霊園への合葬式墓地導入に伴い、設置及び管理に必要な使用者の範囲、使用料等を定めるとともに、規定の整備及び用語の整理を行う条例改正	市長	全会一致で可決
市議第29号  討論	令和4年度伊東市一般会計補正予算(第7号)	歳入において交付金額が確定した地方特例交付金及び普通交付税を増額するとともに、財政調整基金からの繰入金金の減額を計上し、歳出において、各種事務事業の執行経費の整理、新型コロナウイルスワクチンの4回目接種に係る経費等として10億1,231万1,000円を追加するもの	市長	全会一致で可決
市議第30号	令和4年度伊東市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	歳出において、確定した国民健康保険事業納付金について整理を行うとともに、国民健康保険事業基金への積立金の追加のほか、令和3年度分の交付金の確定に伴う県支出金返還金の減額、歳入において基金繰入金金の減額及び令和3年度決算確定に伴う繰越金の計上を主な内容として、1,263万8,000円の追加	市長	全会一致で可決

市 議 会 だ よ り

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市議第31号	令和4年度伊東市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	歳出において、保険給付支払準備基金への積立金の追加、事業費確定に伴う国県支出金返還金の計上など、歳入において、令和3年度決算確定に伴う繰越金の計上を主な内容として1億9,123万9,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第32号	令和4年度伊東市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	歳出において、静岡県後期高齢者医療広域連合に対する保険料負担金の追加、歳入において、令和3年度決算確定に伴う繰越金のほか、療養給付費の清算に伴う静岡県後期高齢者医療広域連合からの返納金の計上を主な内容として4,947万7,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第33号	令和4年度伊東市水道事業会計補正予算(第1号)	収益的支出において、人件費の整理及び修繕に伴う材料費の増額、電気料金の高騰による動力費の増額などを主な内容として2,440万7,000円の追加、また、令和4年度に老朽化により買換えを予定していた給水車両が、世界的な半導体不足などにより年度内の納車が困難となったことから、債務負担行為を設定するもの	市長	全会一致で可決
市議第34号	伊東市新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者等に対する傷病手当金の支給に関する条例の一部を改正する条例	新型コロナウイルス感染症に感染した(感染が疑われる場合を含む。)国民健康保険加入の被用者に対して支給する傷病手当金について、国の財政支援措置に合わせて適用期間を令和5年3月31日まで延長するもの	市長	全会一致で可決
市諮第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	岩沢幸代氏(宇佐美) 新任	市長	全会一致で推薦に同意
市諮第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	鈴木幸枝氏(荻) 新任	市長	全会一致で推薦に同意
発議第1号	伊東市議会の個人情報保護に関する条例	デジタル社会形成整備法により、個人情報保護法が改正され、令和5年4月から地方公共団体の個人情報保護制度は改正後の法律により一元化されるものの、議会における個人情報は法の適用対象とならないことから、本市議会における個人情報を保護する条例を制定	議員7名*	全会一致で可決
発議第2号	带状疱疹ワクチンへの助成及び定期接種化を求める意見書	内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員7名*	全会一致で可決
発議第3号	知的障がい者・知的障がい行政の国の対応拡充を求める意見書	内閣総理大臣、厚生労働大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員7名*	全会一致で可決
発選第2号	選挙管理委員会委員の選挙	菊間徹夫氏(竹の内)、後藤武久氏(荻)、山下晃氏(川奈)、蠣原盛幸氏(八幡野)が当選	議長	—
発選第3号	選挙管理委員会委員の補充員の選挙	森田正見氏(湯川)、市川正樹氏(桜木町)、鈴木健支氏(玖須美元和田)、鈴木元治氏(末広町)が当選(補充順位順)	議長	—

\*各会派代表者及び会派に所属していない議員全員

会派構成は11ページをご覧ください

物価高騰による子育て世代への生活支援策として市立小・中学校の給食費無償化を三学期まで延長する補正予算が計上されたが、就学援助を受けている世帯は既に給食費が免除されており、物価高騰に最も苦しむ低所得者層へ今回の支援が入らないという問題を指摘しつつ、今後の支援策に期待を込めて賛成とする。

市議第二十九号  
《賛成》無党派 嶋

この条例改正は、令和五年度から定年延長が順次実施されることによる職員の雇用の規定であるが、今までと同様の勤務でも給料が七割となることや一〇〇名を越える職員増の可能性もあり、人件費の増額にも課題がある。豊かな経験を持つ職員の有効活用に期待し、同時に新規採用職員の確保も強く要望し、賛成とする。

市議第二十四号  
《賛成》日本共産党

本会議で行われた  
討論の概要  
※登壇順に掲載しています。



# 一 般 質 問



動画はこちら

## 13議員が登壇し、市政全般について質問しました

(登壇順に掲載しています)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、演壇にはアクリル板を設置してあります。

富戸小学校でのコミュニケーションスクールの課題及び他校への導入見通しを伺う



鈴木 綾子 議員  
(正風クラブ)

全国的に導入が進むコミュニケーションスクールを市内の全小・中学校で取り入れることにより、学校を核とした地域づくりにつながることを考える。富戸小学校で始められたコミュニケーションスクールでの課題及び今後の他校への導入見通しを伺う。

教育長

地域総がかりで子供を育てる体制づくりを推進できるよう努める

富戸小学校では、コミュニケーションスクールを導入したことにより、地域から支援を受けた学校運営が行われている。一方では、多くの方に理解してもらうことや学校がどのように地域づく

りに寄与できるかなどが課題となっている。今後は、令和五年度から対島地区において学校運営協議会の設置など、実施可能な学校から導入し、地域総がかりで子供を育てる体制づくりが市内小・中学校で推進できるよう努める。

観光トイレの整備状況及び今後の整備方針を伺う

来誘客に安心して町なかを散策し、長時間滞在してもらうため、観光トイレの整備は重要であると考えることから、現在の整備状況及び今後の整備方針を伺う。

市長

優先順位を付けて改修や改築などトイレの整備を計画的に進める

観光トイレは、現在、三八か所に設置しており、老朽化の状況や利用頻度等を勘案する中で優先順位を付け、改修や改築などの整備を計画的に進めている。今後も清潔で利用しやすい

いトイレを提供するため、各トイレの現状を的確に把握して計画的に整備を進めるほか、きめ細かい日常清掃等の維持管理にも努める。『その他の質問』二項目



計画的に整備を進める予定である観光トイレ

災害時の避難所におけるトイレの整備状況を伺う



白原 律子 議員  
(公明党)

災害時、避難者の約七割が六時間以内にトイレを必要とするのに対し、仮設トイレの設置は数日の時間を要するケースも多いことから、災害時の避難所におけ

るトイレの整備状況について伺う。

断水時でも使用可能な仮設トイレの備蓄を進めている

市長

大規模災害時に備え、近年、断水時でも使用可能なマンホールトイレや自動ラップ式トイレの備蓄数を増やしており、小・中学校等に配置している。また、組立式仮設トイレについても、各地域の防災倉庫に二二三基備蓄している。

防災トイレ計画の作成及び関連団体との連携体制について伺う

避難環境が悪いと、エコノミークラス症候群などの命に関わる問題へとつながる。衛生的でストレスのない避難生活を送るためにはトイレ対策が重要であることから、本市の防災トイレ計画の作成について伺うとともに、上下水道に精通する民間事業者との連携体制について伺う。

**市長**  
自助と公助の役割の明確化などを図るためにも防災トイレ計画の策定に向け検討していく

避難所トイレの管理運営等については、自助と公助の役割分担の明確化などが必要であると考えられることから、防災トイレ計画の策定に向け検討していく。

また、伊東環境整備事業協同組合と「災害時における廃棄物の処理等に関する協定」を締結しており、災害時の仮設トイレのし尿のくみ取りなどの協力体制を構築している。

『その他の質問』 六項目



災害時に使用される自動ラップ式トイレ



議員 杉本 憲也 (清和会)

**コミュニティエフエム難聴地域の解消方法を伺う**

現在策定中の立地適正化計画では、宇佐美地区に人口を集中させてコンパクトシティ化する方針であるが、災害時に重要な情報源となるコミュニティエフエムの難聴地域があることから、どのように解消するか伺う。

**市長**  
エフエム伊東に対して、調査、研究を要請している

令和三年度にコミュニティエフエム難聴地域の解消を図る事業を実施したことで、市内居住地域の九〇%以上で聴取が可能になったと推測している。一方、地形的な要因で放送が入りづらい地域もあることから、各世帯のアンテナ強化により、聴取が可能とな

ると思われるため、エフエム伊東に対して、技術的な対応の調査・研究を要請している。

**ハザードマップ作成上の設定根拠及び更新時期について伺う**

ハザードマップは常に最新の知見に基づき作成されることで、防災力強化につながるかと考え、ハザードマップ作成上の設定根拠及び更新時期について伺う。

**市長**  
伊東市総合防災ガイドブックの改定等により、防災に対する意識啓発を図る

市内全戸に配布した伊東市総合防災ガイドブックに掲載のハザードマップは、国のハザードマップ作成ガイドライン等の方針に基づいて作成している。

ハザードマップの更新は、近年の災害発生状況に鑑みガイドライン等が見直され、県が改めてシミュレーションを行った際に行う。また、

更新の必要がない場合でも、伊東市総合防災ガイドブックの改訂を定期的に行い、防災への意識啓発を図りたいと考えている。

『その他の質問』 四項目



身の回りの災害リスクが分かるハザードマップが掲載されているガイドブック



議員 佐藤 周 (正風クラブ)

**人事評価制度の処遇への反映状況について伺う**

第五次伊東市総合計画において、行政運営の課題として、「人事評価制度の定着と処遇への反映」とあげられているが、現在の反映状況について伺う。

**市長**  
現在は人事評価の結果を処遇へ反映していない

人事評価制度を実施しているが、昇給や勤勉手当等の処遇への反映については、職員組合と協議中であり、現在のところ反映はしていない。他自治体の取組事例を研究するとともに、どのような形で実施することが職員の理解を得られるのか、職員組合とも引き続き協議を続けていく。

**地震時の避難者の居住を確保するための用地や住宅に係る把握状況を伺う**

伊東市耐震改修促進計画において、相模トラフ沿いで発生するレベル一地震における本市の建物被害の想定として、全壊及び焼失を約一〇〇棟と見込んでいますが、応急仮設住宅建設可能用地、市営住宅及び民間賃貸住宅の把握状況について伺う。

市長

市内五か所の用地に、四四一戸の応急仮設住宅の建設が可能となっている

応急仮設住宅建設可能用地として、伊東市営総合グラウンドなど計五か所の用地を確保し、四四一戸の応急仮設住宅の建設が可能となっている。また、市営住宅に関しては、三三〇戸ほどの空きがあるものの、改修が必要な状況もある中で、一〇戸程度は常時入居可能な部屋として確保し、風水害などで被災した市民の一時入居に対応している。民間賃貸住宅に関しては、平成三〇年住宅・土地統計調査の結果から、空き室が三三八〇室あることを把握している。

『その他の質問』 八項目



より高く逃げる  
津波浸水想定区域外でも安心しない!  
海岸から「より遠く」ではなく、「より高いところ」へ避難しましょう。

〔伊東市総合防災ガイドブック〕より



すぎもとかずひこ 議員  
杉本一彦議員  
(自民・維新の会)

市民病院において令和二年に発覚した向精神薬窃取事件への病院管理者の対応について市長の見解を伺う

市民病院には地域の中核医療機関として、市民の安全を守る医療体制を確保してもらいたいと考えていることから、令和二年に発覚した向精神薬窃取事件に関する病院管理者の対応について市長の見解を伺う。

市長  
市民の不安を払拭するよう申入れを行う

当該事件への市民病院の対応については、元薬剤師の精神状況等を考慮し、公表を差し控えた判断には一定の理解はするが、市民の不安を払拭するよう市民病院管理者へ申入れを行う。

令和三年度からの市民病院における産婦人科の体制に係る状況を伺う

市民満足度調査において、地域医療の充実が市民の期待が高い項目であることから、令和三年度からの市民病院における産婦人科の体制に係る状況を伺う。

市長  
令和五年一月から、産婦人科の常勤医が三人となる

市民病院における産婦人科の体制は、令和三年四月から常勤医一人となっていたため、非常勤医師の増員及び近隣の医療機関と連携し、医療体制を維持してきた。

産婦人科は出産に対応するため、二四時間待機などの過酷な勤務環境から希望する医師が少なく、産婦人科医の確保が難しい状況であるものの、安心して出産ができる体制を確保するため、産婦人科医の確保について、地域医療振興協会に

強く申入れを行い、最優先課題として取り組んでいた結果、令和四年九月及び令和五年一月に常勤医を一人ずつ採用し、常勤医三人体制を構築した。

『その他の質問』 四項目



産婦人科医の複数人体制により安心して産まれてきた



あさだ よしひろ 議員  
浅田良弘議員  
(無党派 颯)

伊東八景を活用した新たな観光ブランディングについて伺う

伊東八景でのフォトフレーム設置や現地案内看板にQRコードを掲載し季節感や臨場感を醸し出す動画の配信を行うなど、観光資源にさらなる付加価値を加

えた新たな観光ブランディングを行ってはいかがが。

市長  
新たな観光コンテンツ創出を検討するとともに、普遍的なブランド構築を目指し取組を進める

現在、観光施策として、伊東八景のリーフレットに各スポットの空撮動画のQRコードを掲載しており、ご提案いただいた方策についても実施に向け検討していきたい。また、フォトフレームに関しては、自然公園法の規制を確認する中で、設置の可能性を探っていく。今後も、伊東八景を中心とした景勝地のPRを含め、普遍的なブランド構築に向け取組を進めていく。

有害鳥獣であるイノシシ駆除の取組について伺う

ここ数年、住宅地周辺におけるイノシシ出没に関する相談を受けている。地域の安全確保の必要性から、箱わな等による駆除

の取組について伺う。

**市長**  
市内に三〇基の箱わなを設  
置し、一一頭捕獲した

イノシシ用の大型箱わなを、一月末現在、市内の住宅地及び農地等に、合計三〇基設置し、令和四年度は、現在までに一一頭の捕獲を行い、一定の効果を上げているものと考えている。今後も関係機関と連携を図りながら駆除と防除の両面から対策を継続し、市民生活の安全確保及び農作物等の被害防止に努めていく。

『その他の質問』 六項目



市で設置している箱わな

**市長**  
保護者のニーズに応じた適切な施策を検討する  
本市の保育所利用の就労要件は、保護者の一か月当たりの就労時間が六〇時間以上としており、県内自治体の多くは六四時間以上であることから、既に緩和されていると考えている。将来的には少子化に伴い、保育所の定員に余裕が生じる見込みもあるため、就労要



鳥居康子議員  
(公明党)

**保育所利用の際の就労要件緩和についての考えを伺う**

子育てと就労の両立に保育事業は不可欠であると考えており、出生数が減少傾向であることから、今後、定員割れの保育所が出てくることを想定し、保育所利用の際の就労要件緩和に向けた考えを伺う。

件のさらなる緩和等、保護者のニーズに応じた適切な施策を検討する。

**障害者総合支援法に基づく補聴器購入補助の条件及び利用状況を伺う**

認知症となる要因の一つに、加齢による難聴により会話等が減ることが挙げられており、補聴器の使用により日常生活を保つことが、認知症予防に一定の効果があると考えたことから、障害者総合支援法に基づく補聴器購入補助の条件及び利用状況を伺う。

**市長**  
今後も助成制度の周知及び難聴者への丁寧な対応に努める

障害者総合支援法に基づく補聴器購入補助の条件は、聴覚障害六級以上で一定所得以下の方が対象であり、令和三年度は身体障害者手帳の取得や補聴器の更新の際に二一件の利用があった。今後も助成制度の周知に

努めるほか、市役所の窓口等に耳の不自由な方への配慮を表す耳マークを掲示して、引き続き難聴者への丁寧な対応に努める。

『その他の質問』 二項目



耳が不自由な方への配慮を表す耳マーク



四宮和彦議員  
(清和会)

**公営競技事務所の所掌事務の内容を伺う**

公営競技を正当化するた  
めには、公益の増進、地方  
財政への貢献が必要である  
と考えるが、本市の競輪事  
業特別会計のほとんどは競  
技開催に関わる事業費目  
であることから、現状の公営

競技事務所の所掌事務の内容を伺う。

**市長**  
競技開催に係る業務のほか、人事、経理、施設管理等の業務を行っている

公営競技事務所事業係の所掌事務として、競技開催の日取りの決定や広告宣伝、関係団体との調整などの開催関係業務のほか、競輪従事員の採用・配置などの人事関係業務、市営開催売上精算・管理などの経理業務、競輪選手宿舍の維持管理業務などを行っている。

**公営競技事務所の事務分掌に係る考えを伺う**

競輪事業の根拠法である、自転車競技法の趣旨にのっとると、公益を最大化し、これを市民に還元する努力を継続すべきであると考え、競技開催に係る業務を行う事業係のほか、地域振興係を新設するなど、事務分掌に係る考えを伺う。

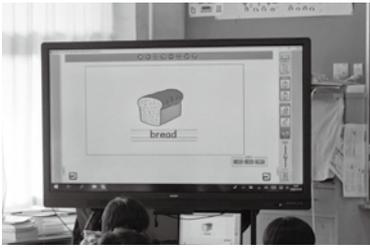
市長

経過や実情を踏まえると、事務分掌については慎重に考える必要がある

過去に事業係のほかにも事務分掌していたこともあったが、競輪事業の収支状況や発売払戻環境の機械化、人員の適正化などにより職員数を減少してきた経過を経て、現在の一課一係となっている。

公営競技事務所の実情を踏まえると、事務分掌については慎重に考えていく必要があるものの、競輪事業のイメージアップを図るための新しい取組として、今後調査、研究していきたい。

『その他の質問』 二項目



競輪事業収益の一部は一般会計へ繰り出し、教育設備の購入経費等に充てられている



しげおかひでこ 重岡秀子議員 (日本共産党)

新図書館の運営方法について、直営と指定管理者制度のそれぞれのメリット及びデメリットを伺う

新図書館の運営方法について、他市では指定管理者制度から直営に戻した事例もあることから、本市においても運営方法の考えを深めていく必要があると考え、直営と指定管理者制度のそれぞれのメリット及びデメリットについて伺う。

教育長

メリット・デメリットを総合的に判断して、指定管理者制度の導入を見据えた検討を進めている

新図書館の運営方法における直営のメリットは、地域からのニーズを幅広く把握することや一貫したサービスを提供することなどが

考えられ、デメリットは新たなスタイルの図書館運営方法が未経験であることや、人件費を含む運営費が指定管理者制度に比べ高騰することなどが挙げられる。

また、指定管理者制度のメリットは民間のノウハウを最大限に活用できることであり、ICTの導入による効率化を見据える中、柔軟な勤務形態の導入や直営と比較した場合に経理業務の圧縮による人員の適正配置のほか、事務手続の迅速化による業務量圧縮などにより、運営費が抑えられると見込んでいる。一方、指定管理者が変更となった場合のサービス継続性の担保などのデメリットが考えられる。

新図書館は訪れる方に「夢と未来を育む」ことができる拠点として、新たな事業展開を期待していること

とから、運営方法における教育委員会などの各種会議において検討を深める中で、メリット・デメリットを総合的に判断し、指定管理者制度の導入を見据えた検討を進めている。

『その他の質問』 四項目



新図書館の外観イメージ



ながさわまさし 長沢正議員 (公明党)

発達性読み書き障害の疑いのある児童・生徒への対応について伺う

文字の読み書きに限定した困難がある発達性読み書き障害は、日本の小学生の約七から八%存在すると言われている。障害の疑いのある児童・生徒に対する本市の対応について伺う。

教育長

個に応じたサポートを行っている

読み書き障害が疑われる児童・生徒の対応について、必要に応じて検査等を行うなどして把握に努め、読み書きの代替方法として、タブレットの写真機能や音声機能を使用するなど、個に応じたサポートを行っている。また、専門的知見を要する機関や医療機関と連携し、保護者へ適切な助言をし、早期療育に努め、周りの児童・生徒にも必要な範囲で障害に関する理解を図る機会を設けている。

市内における不法投棄の現状と対策について伺う

不法投棄は、生活環境、公衆衛生、視野を広げれば気象や生態系等にも重大な影響を与え、回り回って私たちの生活や健康に害を及ぼすことにつながる。そこで、本市における不法投棄の現状と対策について伺う。

市長

監視カメラやフェンスの設置などの未然防止策を図っている

不法投棄の現状として、海岸等での散乱ごみや山間部等に投棄された粗大ごみなどがあり、令和三年度の回収量は八四トンであった。対策として、パトロールのほか、フェンス・監視カメラの設置など、不法投棄の未然防止及び早期発見に努め、ケースによっては、警察などの関係機関と連携し対応している。

『その他の質問』 一項目



山林における不法投棄現場



たかばまき 田久保真紀議員 (無党派 嶺)

(仮称) 伊豆高原メガソーラーパーク発電所建設事業地内における崩落の概要及び対応状況を伺う

令和四年九月二三日からの台風の影響により(仮称) 伊豆高原メガソーラーパーク発電所建設事業地内で発生した崩落の概要及び対応状況を伺う。

市長

職員が現地調査し、崩落及び土砂流出の防止措置をすべく行政指導を行った

当該事業地内で台風による豪雨の影響により道路のり面の長さ約二六メートル、高さ約一〇メートルが崩落し、岡沢へ土砂が流出した。市民からの通報により、岡沢への影響を把握するための職員によるり面の被害状況調査を実施し、九月

二七日に宅地造成等規制法に基づいて事業者等に対し、のり面の崩落防止及び土砂流出防止の措置をするよう行政指導を行った。これを受け、事業者は一〇月一日から復旧工事を開始した。全国旅行支援等で回復が期待される観光業について、本市の今後の方針を伺う

コロナ禍で生活様式や価値観が変わる中、観光客のニーズを的確に捉えた観光メニューの提供が必要であることから、全国旅行支援等で回復が期待される観光業について、今後の本市の方針を伺う。

市長

時代に合った様々な取組を積極的かつ柔軟に進める

ウィズコロナに対応した観光イベントを開催できる仕組みを構築するほか、ブランド研究会で検討しているニューツーリズムなどの新たな旅行商品を創出するとともに、コロナ禍で大き

く変化する観光の在り方を踏まえ、時代に合った様々な取組を積極的かつ柔軟に進めていく。

『その他の質問』 二項目



コロナ禍により観光客の志向が大きく変化している



さとらつひこ 佐藤龍彦議員 (日本共産党)

宇佐美中学校において特別支援学級を開設する考えはないか伺う

宇佐美から特別支援学級のある南中学校へ通学する場合、電車やバスを利用した通学に対する心配などがあり、宇佐美中学校への特別支援学級開設を希望する

教育長

状況判断により、必要に応じて検討する

特別支援学級の新設については、希望する人数、教室等の学習環境の状況、教職員人事の状況等を総合的に判断し、必要に応じて検討する。

伊東市地域公共交通計画における買物難民やお出かけ難民等への取組を伺う

市内では買物難民やお出かけ難民と言われる市民の生活を支援する取組がされている地域もあるが、十分ではないと考えることから、伊東市地域公共交通計画における取組を伺う。

市長

路線バスの維持や住民主体で運行する生活交通への補助など関係機関とともに取組を進めている



生活を支えるための交通手段の確保が求められている

伊東市地域公共交通計画における取組のうち、買物やお出かけをする市民の生活を支援する取組については、人口減少や高齢化に対応した公共交通体系を再構築するとして「市内路線バスの維持・見直し」の取組や、公共交通の確保・充実を目指すとして「交通空白地域の解消に向けた取組」、「別荘地などが主体となり運行する生活交通への補助」及び「協働による移動手段の維持に向けた体制の構築」の取組などを定め、地域住民及び関係機関とともに各種取組を進めている。

『その他の質問』 一項目

大規模災害発生の際は、収容能力の大きい体育館等を耐震性能に基づき優先的に避難所として活用することを想定している。

しかし、震度七が二回続いた熊本地震の例もあることから、大規模地震発生後に避難所を開設する際は、避難所や避難所周辺の応急

**市長**  
避難所や避難所周辺の応急危険度判定を実施する

避難所開設に当たり、避難者を安全に受け入れるためには、避難所や周辺状況を把握することが重要と考えることから、大規模災害発生の際、どのように避難所の状況を把握するか伺う。

大規模災害が発生した際、どのように避難所の状況を把握するか伺う



いししましげお 石島茂雄議員  
(会派に所属していない)

避難所開設に当たり、避難者を安全に受け入れるためには、避難所や周辺状況を把握することが重要と考えることから、大規模災害発生の際、どのように避難所の状況を把握するか伺う。

大規模災害発生の際は、収容能力の大きい体育館等を耐震性能に基づき優先的に避難所として活用することを想定している。

しかし、震度七が二回続いた熊本地震の例もあることから、大規模地震発生後に避難所を開設する際は、避難所や避難所周辺の応急

**市長**  
乳幼児及び保護者が安心して接種が受けられるようきめ細かい対応を心がける

生後六か月から四歳までの乳幼児へ新型コロナウイルス接種が始まったが、接種への不安の声も上がっているため、本市の取組について伺う。

生後六か月から四歳までの乳幼児を対象とした、新型コロナウイルスワクチン接種の取組について伺う

危険度判定を実施し、その後余震が発生した場合も安全な避難所として使用可能か確認の必要があると認識している。

閉会中の議会活動

令和4年9月定例会閉会から  
令和4年12月定例会開会まで

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 9月28日        | 常任総務委員会協議会    |
| 10月4日        | 議会運営委員会       |
| 10月26日       | 常任観光建設委員会協議会  |
| 10月27日       | 議会報編集委員会      |
| 10月31日~11月2日 | 常任総務委員会行政視察   |
| 11月7日~11月9日  | 常任観光建設委員会行政視察 |
| 11月9日~11月11日 | 常任福祉文教委員会行政視察 |
| 11月24日       | 議会運営委員会       |



乳幼児用ワクチンの安全性を心配する声もある

事するほか、母子手帳の確認や医師による予診を十分に実施している。今後も安心して接種が受けられるよう乳幼児や保護者へのきめ細かい対応を心がける。

3月定例会の予定

2月20日(月)  
開会

※日程等は、2月中旬の議会運営委員会において正式に決定します。  
詳細は市議会ホームページにてご確認ください。

# 常任委員会だより

～12月6日、7日に行われた常任委員会審査の中から、一部を抜粋～

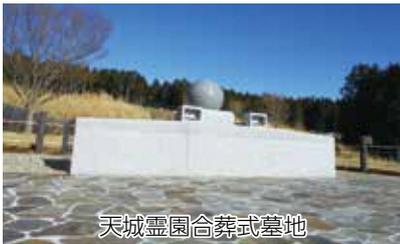
ホームページにおいて、  
各委員会要点記録を公開しております。 [各委員会要点記録はこちら](#)



## 総務委員会

**問** 令和4年度に建設した天城霊園合葬式墓地の募集開始時期を伺う。

**答** 令和5年6月から募集を開始する予定であり、その後は雪による閉鎖が懸念される冬期を除き、随時受付を行っていく。



天城霊園合葬式墓地

**問** 地方公務員法の一部改正に伴って行う関係条例の整備について、主な内容を伺う。

**答** 国家公務員の定年引上げに伴い、地方公務員の定年も60歳から65歳まで2年に1歳ずつ段階的に引き上げられることとともに、役職定年制を導入すること、また60歳を超える職員の給料月額額は60歳前の7割水準とすること等を定めるものである。

## 観光建設委員会

**問** キャッシュレス決済ポイント還元事業の実施目的及び事業効果等を伺う。

**答** 市民への物価高騰対策のために実施するものである。市民だけでなく来遊客にも利用していただけることから、キャッシュレス決済システムを導入していない事業者に向けた説明会を1月に行い幅広い参加を募ることで、市内経済の活性化及び本市のDXの推進にもつなげていきたい。

今回の事業は、約5万人に利用していただくことを想定しているが、万が一、想定を超える利用があった場合においても2月末日の期間終了まで継続できるように努力したい。



キャッシュレス決済ポイント還元事業の対象店舗であることを示すポスター

## 福祉文教委員会

**問** 不妊等治療費助成事業に関し、その内容とともに今後の事業展望を伺う。

**答** 本市では、従来から、助成対象者の年齢や利用回数に上限を設けない中で、不妊等治療に係る費用への助成を行っており、加えて、治療費用を保険適用とした国の制度改正に合わせて、今年度から、助成限度額を引き上げたことなどで、昨年度を上回る利用実績が見込まれている。

本市の制度の充実度は高いものと認識しており、今後も、同制度を継続していき、本市の少子化対策に資するとともに、子供を望む方の想いに寄り添い、応えていけるような事業としていきたい。

今年度から助成額が引き上げられ、より充実した制度となった。

	旧制度	新制度
対象者	法律婚のみ	事実婚も追加
上限額	12万円	30万円
通算助成限度額	108万円	150万円

（○）会派代表者、  
会派構成議員は議席順

■ 会派に所属していない  
 ○ 浅田 良弘 議員  
 石島 茂雄 議員

■ 無党派  
 田久保真紀 議員  
 重岡 秀子 議員

■ 日本共産党

○ 杉本 一彦 議員  
 中島 弘道 議員  
 大川 勝弘 議員

■ 自民・維新の会

○ 井戸 清司 議員  
 杉本 憲也 議員  
 四宮 和彦 議員

■ 清和会

○ 長沢 正 議員  
 篠原 峰子 議員  
 鳥居 康子 議員

■ 公明党

○ 青木 敬博 議員  
 佐藤 周 議員

■ 正風クラブ

仲田 佳正 議員  
 鈴木 絢子 議員  
 宮崎 雅薫 議員

市議会内の会派構成  
(令和五年二月一日現在)

# 常任委員会 行政視察概要

常任委員会では先進事例などの調査・研修のため、3日間の行政視察を実施しました。

ホームページにおいて、委員会行政視察報告書を公開しております。

こちらから  
ご覧ください



## 総務委員会

一〇月二日

熊本県荒尾市  
RPA導入に係る経緯と、  
取組及び実績について

一〇月一日

熊本県益城町  
熊本地震からの復旧・復  
興への取組について

一〇月二日

熊本県熊本市  
熊本地震から見えた課題  
とその後の取組について



平成28年熊本地震の際にできた布田川断層  
(益城町)

## 観光建設委員会

一〇月七日

大分県別府市  
競輪事業について

一〇月八日

大分県別府市  
別府ONSENアカデミ  
ア開催事業について

一〇月九日

大分県大分市  
第二次大分市観光戦略プ  
ランについて



競輪場有料席 (別府市)

## 福祉文教委員会

一〇月九日

福岡県北九州市  
北九州市立子育てふれあ  
い交流プラザ「元気のも  
り」について

一〇月一〇日

山口県下関市  
下関市立中央図書館の運  
営について

一〇月二日

山口県山口市  
保育人材確保の取組につ  
いて



北九州市立子育てふれあい交流プラザ  
[元気のもり] (北九州市)

## 編集後記

五月のある夜のこと。松川を流れる心地よい夜風やせせらぎの音に癒やされながら、ふと対岸の東海館を見ると、飛び込んだかのように、かがり火に照らされ、水面に浮かぶ伊東祐親祭りの薪能。この全国唯一の水舞台上を、毎年伊東を訪れるファンの方も多いと聞きます。こうした貴重な文化資源を、持続可能なまちの活性化にどう生かすか。世代に伝えられるのか。伊東市が国際観光温泉文化都市として輝き続けるには、今まさに、市民と行政とのより一層の連携強化が求められているのではないのでしょうか。(杉本憲)

### 議会報編集委員会

- 委員長 佐藤 龍彦
- 副委員長 杉本 憲也
- 委員 鈴木 絢子
- 篠原 峰子
- 中島 弘道
- 田久保真紀

### 市議会に関するご意見

ご質問は議会事務局へ